

横須賀市基本計画の策定に関する特別委員会 質疑一覧(H22.3.24)

委員	理事者
発言要旨	発言要旨
1 計画をつくると同時に、これを実行するためのことを考えねばならない。計画したものをどのように実現していくかが重要である。例えば、重点プログラムの資料で、横須賀の取り組むべき課題として、「子育て支援の充実」とあるが、これを解決するために実際に何を行うのか。その先のプロセスも知りたい。	来年度策定する実施計画の中で、施策体系に関する重点事業とは別に、重点プログラムに基づく事業を示していく。
2 綺麗な言葉で理想だけ掲げて意味がない。課題に対して実際に何をやるのかを示す必要があると思い、質問させていただいた。そうでなければ画餅に終わる。	ご指摘のとおり。実際にどうやって課題を解決するかは事業で示さなければならない。並行して策定する実施計画で対応する。
3 基本構想で「国際海の手文化都市」を都市像に掲げている。しかし、基本計画の重点プログラムとの関係が見えない。	重点プログラムは、本市が持続可能な発展を遂げるために必要な取組みを示したものを。これを実現するには普遍的な7つの都市力が必要と位置付けている。当然、本市が持つ国際性も取り入れていくことになり、都市像として掲げる「国際海の手文化都市」とも繋がっていく。
4 国際性豊かなまちを目指すということだと思うが、具体的に、重点プログラムの施策でどのように取り組むかがわからない。	国際海の手文化都市の国際は、「国際性豊か」という側面だけでなく、「国際的に認められる都市になる」という思いも込められている。例えば、重点プログラムの「にぎわいを生むプログラム」では、都市としてのブランドを高めることによって、国際的に認められるようになるということを考えている。
5 それならば、「国際性豊か」や、「国際的に認められる都市になる」という言葉を、重点プログラムに落とし込んでいくべきではないか。	今後、重点プログラムを詳細に書き込んでいくときに、そのような点を考えていきたい。また、施策体系の大柱1「いきいきとした交流が広がるまち」にも関連する問題なので、施策を書き込んでいく際に併せて検討する。
6	国際性については、先日、企画調整部の所管課にこれに関する新たな施策を考えるよう指示した。基本計画の記述も、これを踏まえきちんと書き込んでいきたい。
7 国際海の手文化都市と聞くと、一般的にすばらしい都市をイメージする。基本計画でこれを目指していくわけだが、実現するための施策が足りないと感じる。	ご意見を踏まえ十分に考えていく。こういった指摘を今後もいただけるとありがたい。
8 総合計画審議会では、「施策体系全体を見て具体的なイメージが伝わってこない。市がどこまでできるかポイントを示したほうが良い。」という意見や、「まちづくりのイメージが沸くような記述をしたほうが良い。」という意見が出ている。つまり、計画の具体性が乏しいという指摘だと思うが、この点についてどう考えているか。	新年度は、小柱以下の施策を書き込んだものを提出するので、もう少し具体的な議論ができると考えている。

委員	理事者
発言要旨	発言要旨
9 計画素案に対する意見募集のホームページを改善していただき、非常に見やすくなった。前回、意見が提出された場合には、その都度とりまとめて報告すると言っていたが、今回の資料には載っていない。意見は無かったということか。	今のところまだ2件である。提出された意見は、計画全体に及んだ指摘で、量もかなりあるため、現在整理している。次回の委員会に提出する。
10 今回提出された意見は、中身が濃いということか。	中身が濃いというより、数が膨大である。現在まとめている。
11 是非、見たいので、次回楽しみにしている。	
12 その他の委員が発言したことへの対応はどうなっているのか。資料では、「検討する」などの対応方針が書かれているが、検討した結果の報告があつて然るべきだと思うが。	それぞれの意見をきちんと検討し、盛り込むべきは盛り込んでいくが、時間のかかるものもあるので、対応が決まり次第、報告する。今回のホームページはすぐに対応できたので報告した。
13 誰の意見に対してどう対応したかを、詳細に報告いただけると考えてよいか。	そのように考えている。
14 「3-2-2 スポーツ活動の振興」の変更点として、スポーツ活動の振興を明確に位置付けるとあるが、具体的にどうということか。	現行の基本計画では、施策の柱にスポーツ活動の振興が位置付けられていない。今回、スポーツ活動の振興は重要な要素と捉えたので、柱立てした。
15 教育基本計画の見直しの中で進められている、「スポーツ振興基本計画」との関係や繋がりを教えほしい。	基本計画が上位計画になるので、基本計画の方針を、スポーツ振興基本計画にも盛り込んでいくことになる。
16 前回の委員会でお願ひした、企業誘致と雇用の関係について対応いただいた。しかし、横須賀市民の新規雇用にどれだけ結びついたかは分からないとのこと。ヒアリング等で従業者の数を把握しているそうだが、補助金を出している以上、きちんと企業から聞き出すという強いスタンスを持つべきではないか。	即戦力となる従業員は、自社の社員を連れてくるケースが多いが、企業が立地に伴い、新たなビジネスが発生するので、雇用全体の裾野が広がると考えている。それぞれの企業で、市内の従業者がどの程度いるか知りたいというご要望であれば、機会を見て改めて調査したいと思う。
17 ご発言のように、数では表せない波及効果があるのは想像に難くないが、少なくとも市民の雇用がどれほど増えたのかは、データで出してほしい。その上では、前回も申し上げたが、パートやアルバイトではなく、正規の正社員が新規でどれだけ増えたのか、それがわかるものを出してほしい。	ご要望の点について検討する。
18 そういう資料を出していただかないと、企業誘致が雇用に貢献しているのか検証できない。是非お願いしたい。大企業の中には、自己の都合で勝手に撤退する場合もある。その辺はきちんと精査すべきである。	

委員	理事者
発言要旨	発言要旨
<p>19 総合計画審議会の意見一覧に、「企業誘致に対する基本的な姿勢を教えてほしい」とか、「企業誘致は難しいのではないかなど、企業誘致に対する懐疑的な意見がある。全面的に企業誘致を否定するものではないが、問題も多々あるということは理解すべきだ。また、「中小企業は資本等は小さいがネットワークを組むことでいくつかのものをつくれる」という意見がでている。今まであまり光が当たらなかった、中小企業に対する支援も考えてほしい。</p>	<p>企業は企業活動をした状態で立地してくるわけなので、従業員全てを新たに市内で雇用することはない。企業誘致のスタンスとしては、まずは、企業に来ていただいて、法人・市民税を納めていただくことが大切。その上で、できれば市内に転居してもらうこと、また、市民を雇用してもらうことなどをお願いしていきたい。中小企業に対する支援というご指摘をいただいたが、大企業、中小企業の双方が重要であり、並列的に施策を進めるべきものと捉えている。</p>
<p>20 大企業と中小企業を並列に考えていくことに関しては賛同できない。</p>	
<p>21 雇用に関しては、農水産業にもスポットを当てる必要がある。総合計画審議会から、「魅力ある農水産業を実現するには、生業として成立する環境を整えることが必要」との意見が出ている。横須賀は恵まれた農地や漁場がありながら、生業として成立たず後を継げない状況にあるのは、非常に残念なことだ。</p>	<p>農水産業は、新規参入が難しいなど、様々な課題があると聞いている。実際に従事している方のご意見を聞きながら検討していく必要があると考えている。なお、先ほどの大企業と中小企業の関係に関しては、独立して業を営んでいる場合もあるが、ネットワークを組んでビジネスするケースが多いので、どちらが大切ということではない。</p>
<p>22 企業誘致の実績に関する資料については、委員会として要望する。</p>	<p>実際に企業に聞いてみないと、どこまでデータが出てくるかわからない。ご要望の資料が全部提出できるかはわからないが努力する。</p>
<p>23 私も、大企業、中小企業の双方が大切という認識。ただ、市として補助金などの支援をすれば、体力のある大企業ではなく中小企業という意味で申し上げた。</p>	
<p>24 基本構想に、東京湾口道路やテクノスーパーライナーが載っている。このような広域の大型開発は、自然環境に影響を与えるものだし、また、財政事情等からトーンダウンしたと認識している。市長は基本構想は最上位の計画として引き続き大事と言っていたが、つまり、これらの大型開発を是とするということか。また、現行基本計画にも首都圏新空港などが載っている。もし、新たな基本計画で見直していくのなら、きちんとした総括があつて然るべきと考えるが。</p>	<p>かなり以前のことなので、これらがすべて実現できるかどうかはわからない。新しい基本計画に盛り込むべきかは、本委員会にも十分議論いただいた上で、判断したい。</p>
<p>25 私は、財政事情等に関係なく、こういった大型開発は行うべきでないと考えている。今後、十分に議論していきたい。</p>	<p>ご意見としてお聞きする。</p>
<p>26 安保改定50年を迎え、普天間基地の移設問題が日々取り沙汰されるように、基地の存在が問われる時代になっている。10年後を見据えると、基地返還後の横須賀を描いた基本計画にすべきである。また、多発する米軍犯罪への対応や、原子力空母の常駐に対する防災対策などにも、取り組む必要がある。</p>	<p>ご意見としてお聞きする。</p>

委員	理事者
発言要旨	発言要旨
27 本市と藤沢市の合計特殊出生率の資料を出していただき感謝する。藤沢市は、15歳～49歳の女性の数が本市より多く、パートなどで働く場が多いのだろうと想像した。新たな基本計画では、仕事場の充実を進めていく必要があると改めて感じた。また、子どもを産み育てやすい環境づくりも手厚くする必要があると思う。	雇用の問題は、様々な側面から捉えていかなければならない。柱として立てるかは別の問題として、雇用の機会をどう増やしていくかを総合的に考え、計画に盛り込んでいきたい。
28 雇用に関して市ができることは少ないと思うが、企業誘致などで、できる限り増やしてほしい。とくに製造業は裾野が広いので誘致できれば雇用に繋がる。サービス業は競争で淘汰される場合もあるので、是非、製造業の誘致を進めてもらいたい。	ご指摘のように、雇用に繋がる企業誘致を進めていきたいが、産業全体が労働集約型から知識集約型にシフトしている状況で、難しい面もある。しかし、モノをつくるということは経済の基本なので、こういう企業が育つ環境や、誘致ができるような方法を、様々な施策を組み合わせる。
29 共済病院が産婦人科を休止するが、子どもを産む環境がないと、転出人口の増加に繋がる。是非、対策を進めてほしい。また、旧市立横須賀高校の跡地利用で、高等学校の誘致を進めていたが上手くいかなかった。これからは、横須賀にも優秀な高等学校があったほうが良い。そういった意味で、子どもを産んでから学校に行くまでの施策を充実させてほしい。	安心して出産ができることから始まり、実際にどういう教育を受けられるのかは、非常に関心の高いところである。関係部と調整しながら施策を検討する。
30 報告いただいた、第2回総合計画審議会では、施策体系の大柱、中柱、小柱だけが、議論の対象だったのか。	ご指摘のとおりである。
31 第4回の総合計画審議会では、重点プログラムのみが審議対象なのか。	4月の第4回は、重点プログラムについて、審議を行う。
32 総合計画審議会は、色々な団体から委員が選出されているが、施策体系の議論では、ご自身の専門外のことにしても、バランスよく意見が出たのか。	それぞれの団体から参加されているので、専門分野の意見が中心だった。
33 市がやりたい方向の意見だけをピックアップすると、市民ニーズとかけ離れてしまう。注意してほしい。	本委員会、総合計画審議会、市民会議など、様々な方面から意見をいただき集約していきたい。その上で、どれかに偏ることのないように留意する。
34 重点プログラムの「プログラム」という用語は、どういう意味で使っているのか。	市町村の計画の中であまり馴染みのない言葉だが、国の計画では使われている。実施計画で示すプロジェクトを束ねるメニュー表にあたるもの。
35 市民が見たときに理解できるかという問題がある。少なくとも10年間は使う計画なので、考える必要があるのではないか。また、章自体が重点プログラムという名称で、その下に環境など5つのプログラムがあるのも分かりづらい。	国や民間企業では使っている言葉。プログラムは、どういう手順で政策を展開するかを示すもので、戦略的な意味合いが込められている。

委員	理事者
発言要旨	発言要旨
36 行政が決めることだが、今後も変更の余地があるなら審議会の意見なども聞いていただきたい。私はもっと分かりやすい言葉の方が基本計画に馴染むと思う。是非、検討してもらいたい。	本委員会で意見があったことを、総合計画審議会に報告する。
37 5つの重点プログラムの順番は、前に聞いた時は並列であるとのことだった。しかし、一般的には上にあるものが優先されると見る。この辺の議論はしたのか。	プログラムの順番を決める時には、市長と議論した。
38 マニフェストの順番にあわせたのかもしれないが、「命を守るプログラム」や「新しい芽を育むプログラム」が上に来たほうが良いと思う。下に書いてある戦略で、「人」が宝であると示していることからしても。	「地球全体を含めた環境に始まり、個々の命、その命から新しい命が生まれ、そして沢山の人が集まってまちのにぎわいをつくり、それが安全を守る力になっていく」、というストーリーで考えている。それぞれの重みに差はない。すべてのプログラムが「人を大切にする」という基本的な視点を持っており、施策にヨコ串を通した構成になっている。
39 南処理工場の移転では、400haも緑を削るので、とても環境第一に考えているとは思えない。確かに色々なことを考慮して現在の位置に決まったと思うが、いかに緑を守っていくかという努力が見られない。もう少し現実に即した順番にしたほうが良いのではないかと感じている。	自然環境と生活環境を施策の中で高度に調和させることが重要と考えている。これまでも緑の保全是行ってきたが、今後は再生にも力を入れなければならない。緑を含めた環境の保全是重要な課題と位置付け、ストーリーの最初に位置付けた。
40 重点プログラムの資料で、横須賀市が取り組むべき課題が示されているが、基本構想とのリンクが薄いように感じたのだが。	基本構想の第2章で、基本戦略を位置付けている。ここで掲げている3つの基本戦略は、雇用の場の創出や集客力の確保のために打出されたもの。これを受けて現行の基本計画では、21世紀に本市が継続的に発展するための戦略を示している。新しい基本計画では、言葉こそ違うものの、本市が継続的に発展するためにやるべきことを、普遍的な都市力から搾り出している。そういう意味で考え方は一貫している。
41 横須賀が取り組むべき課題に対して、何を進めていくのかわかるような説明文を書くべきではないか。課題を羅列しているだけで、基本構想と連動していると言っても、読んだ人は理解できない。	基本構想からの流れについては、市民がわかりやすいよう解説を加えたいと考えている。今後素案を修正する中で、課題がどのように導き出されたかを理解いただけるよう、工夫して書いていきたい。
42 市長が言ったように、基本構想は大事なものだが、時代とともに微修正していくべきである。基本計画をつくるにあたって基本構想の修正はいいチャンスだと思う。	時代が変わればニーズは変化するし、市の財政状況も変わる。ここで捉えた課題は今の状況から考えたもので、これに基づいて何をやるかを示すのが基本計画。基本構想からの流れを受けたものであることは間違いないが、わかりやすくという指摘については、検討する。
43 理事者のお二人はこれが頭に入っているが、市民が理解できるような表現や構成が必要だ。かなり注意して文章をつくらないと市民はわからない。	今後、施策を細かく記述していくが、できる限りわかりやすい文章にする。また、議論の材料としては、並行して策定する実施計画の事業をお示していく予定。

委員	理事者
発言要旨	発言要旨
44 前回の委員会で、具体的な事業は実施計画で示すと言っていた。しかし、基本計画の施策にも、どんな事業があるのかを示すべきではないか。他の自治体では事業例を出しているところもある。そうしないと、市民がわかりやすい計画にはならない。	小柱の施策をできる限り分かりやすく書いていきたい。また、実施計画との対比がわかりやすいように、計画書の印刷等で工夫したい。
45 視察した松山市では、わかりやすい計画づくりをしていた。やはり、ある程度基本計画の中に具体性を持たせていただきたい。今後の検討課題としてほしい。	改めて施策を書き込んだ施策体系をお示しするので、ご意見をいただきながら、わかりやすい計画づくりを進める。
46 総合計画審議会から100件以上の意見が出されている。実際、審議会の場では、委員の意見に対して市職員が答弁しているのか。	基本的に、政策担当課長である私と事務局の職員が答えている。
47 意見の中に、川崎市が行っている石油コンビナートの観光などを取り入れてはどうかとある。横須賀では環境が違うので難しいと思うが、これに対して市はどう回答をしたのか。	この意見に対する回答はしなかった。
48 また、自然豊かな公園といっても猿島以外には見当たらないという意見もあるが、大楠山や観音崎などがある。市として違うと思うことがあれば、きちんと見解を述べる必要がある。	現状をよく説明するようにしたい。本委員会からこういう意見があったことを、総合計画審議会に報告する。
49 重点プログラムの資料で、横須賀の現状が示されている。子どもを育てる環境のところで、「学校と地域の連携で拡充の余地」とある。しかし、子どもの見守り隊などはほとんどの地域でやっているはず。どういう現状を把握してこういう言葉が出てきたのか。	行政評価で出た意見を踏まえている。ご指摘のように地域の防犯という観点では、本市はかなり進んでいる。しかし、学校教育の中に地域の方々に入っていただくということに関して、拡充の余地があると考えた。
50 幅広い分野なので、いろいろやることはあるが、「拡充の余地」という言葉だけ見ると、地域が何もやっていないように思える。	表現の方法に注意する。
51 7つの都市力と横須賀の現状で掲げられている内容に矛盾がある。例えば都市力の中で「市内の交通網が充実している」とあるが、現状の中では「都心まで時間がかかる」とか、「街中と郊外を結ぶ公共交通網が不十分」となっている。また、取り組むべき課題では、「鉄道網や公共交通機関の整備」と書かれている。この辺の関係を説明してほしい。	市民アンケートなどを見ると、交通の利便性が高いという意見がある一方で、それとは逆の意見もある。その辺の記述がすべて書いてあるので、わかりにくいのだと思う。なお、鉄道網や公共交通の充実が重点課題として捉えている。
52 鉄道網の整備とは、具体的に何を想定しているのか。	新しく線路をつくるのは難しいが、鉄道輸送力を増強していきたいという考えがある。そういった意味でこういう言葉を盛り込んだ。
53 それは「整備」とは言わないはず。今の答弁からすると、「輸送力の増強」で良いではないか。	文言については整理する。

委員	理事者
発言要旨	発言要旨
54 生涯を過ごす環境の中に「心のバリアフリーの推進」がある。これはどういう意味なのか。	ノンステップバスの導入や歩道の段差解消など、物理的なバリアは解消されつつある。しかし、人と人との思いやりなど、精神的な意味でのバリアフリーは依然として課題がある。これを進めていく観点で記載した。
55 一般的な言葉として、使われているのか。	福祉分野では一般的に使われていると認識している。
56 基本計画の対象は福祉分野だけではないので、表現を検討してほしい。	趣旨については政策担当課長が説明したとおりで、気遣いを忘れないということである。表現については検討する。
57 前回、市の分野別計画を一同に列挙してはどうかと指摘した。これはどうなったのか。	前回ご指摘いただいたので、作業した。
58 今日の説明資料には無いが、なぜなのか。	委員がもう一点指摘された「条例の整理」も作業しているので、これと併せて提出する。
59 議論する上で、必要だと思い発言したのだから、是非、提出してほしい。	
60 基本構想は、時代に合わない部分も出てきている。長期の土台そのものに無理があるとは思わないのか。	まちの基本的な方向性については、変化がないと考えている。
61 時代にそぐわないプロジェクトも記載されていて、無理がある。これからの基本計画をつくるのだから、ガラリと変えるとは言わないが、基本構想のリニューアル版をつくり、併せて議決することも検討すべきと考えるが。	そこまで策定作業を戻すことは、日程的にできない。
62 まだ1年ある。古びた基本構想を生かしたまま、基本計画を議決しろというのか。	基本構想の方針は古びていないと考えている。
63 全部変えるとは言っていない。即さない部分をそぎ落とすことはできるはず。ずっと言い続けているのは、古いやり方に捉われてはだめだからだ。それでも、変えるつもりはないのか。	基本構想をもとに基本計画をつくるという方針は、策定方針をつくり、平成20年の総務常任委員会に報告させていただいている。またそれ以降も、策定過程を常任委員会に報告している。
64 報告をいただいているのは承知している。しかし、今回私達が最も重視するのは議決ということで、議会にも責任がある。報告をいただくのは当然だが、そのことと、基本構想を変えないということは趣旨が違う。	繰り返しになるが、策定過程はその都度常任委員会に報告している。その中で、基本構想を変えるべきという意見は無かった。

委員	理事者
発言要旨	発言要旨
65 基本構想からやり直せとは言っていない。そぐわない部分を出し直しても良いのではないかという趣旨だ。議会も責任を持ちたいから議決事件にしたわけだ。それほど頑なにならないでほしい。少なくとも、今の基本構想との付け合せはすべきと思うが。	繰り返しになるが、策定過程はその都度常任委員会に報告している。この時点で手戻りとなる変更はできない。
66 そんなに難しい話ではないはずだ。意見として受け止めてほしい。	ご意見としては受け止めさせていただく。
67 強力的な意見として受け止めてほしい。	
68 現行の基本計画と比べて、後退しているように感じる。たとえば、現行計画では、この施策を実現するために、こういう事業があるという記載までしている。それが無い状態で、どう議論するのか。実施計画で事業を示すというが、それではだめだ。いちいち何をやるのか聞き出さなければわからない計画では、議決する意味が無い。事業例を記載すべきである。	現在、小柱以下の施策を書き込んでおり、完成次第、本委員会にお示しする。その際、想定される事業例も議論の材料として提示する。なお、最終的に、議決部分に関しては、小柱以下の施策までとする。なお、事業に関しては、冊子をつくる際に実施計画事業を掲載することは考えられるので、工夫していきたい。
69 中期計画である基本計画に事業を載せてもおかしくない。予算を伴った事業を議決していくというスタンスを否定するわけではないが、中期計画にも、以前と同様に事業の記載が必要だ。	最終的な計画書では、基本計画と実施計画を併せたものにするよう工夫する。
70 いまだに、基本計画は行政計画であるといった考えから抜けきれていない。行政、議会、市民が責任を持った対等な関係で市政を運営するという意識を持ってほしい。これまでの答弁を聞くと、基本構想は一度つくってしまえば棚の上に置きっぱなしで、実施計画さえつくっていただければいいと感じられる。	基本構想、基本計画、実施計画は、きちんとリンクしている。齟齬がないようにセットするのが執行部の役割である。
71 基本構想は、議決した議会自身が居心地が悪いと指摘している。3層構造に捉われる必要はない。	
72 別添資料3-2の横須賀市の現状に、原子力災害への不安や、米軍基地に対する治安面での不安が記載されている。しかし、市民ニーズにはこれらのことが書かれておらず、いきなり現状で出てきた感がある。また、実際に原子力災害とは何を想定しているのか。	横須賀市の現状は、行政評価の項目から出てきている。内部評価でこういう意見があった。
73 原子力災害の想定についてはどうか。米軍基地なのか、市内の民間企業を意図しているのか。	市内の企業も含まれている。

委員	理事者
発言要旨	発言要旨
74 米軍基地に対する治安は、基地自体が不安なのか、基地の米軍人なのか。	基地そのものではなく、基地内の米軍人の犯罪に対する不安である。表現を修正する。
75 横須賀市としては、目標とするような世界の都市はあるか。	国際的に認められる都市になりたいという思いはあるが、本市独自のものであり、目標とする都市はない。
76 基本構想は2025年までだが、今度の基本計画は2021年まで。残り4年の空白はどういう扱いか。また、そもそも、基本計画が2021年までになった経緯はどうなっているのか。	2025年は基本構想の期間というより目標という位置付け。基本計画の期間がそれより短いので、実務的には、その時点で新たな基本構想をつくることになる。
77 現行基本計画は13年で今回は11年。短くした理由は。	前回は区切りのいい2010年という目標を定めて期間を設定した。今回は、市長任期と連動させるため、実施計画の期間を意識して、実施計画3回分を基本とする計画期間を設定した。
78 時として上位計画の基本構想の年数に影響されたり、また下の実施計画に根拠を置いたりということか。計画というのは、10年なら10年と決めてやるべきものではないか。	その都度、変更があるという点については忸怩たる想いがある。次の計画をつくる際には、齟齬のないように努めたい。
79 総合計画審議会の委員は、公募の方や様々な団体の代表者で構成されている。どういう基準で委員を選出したのか、また、公募の方は何人応募があってどのように選んだのか、改めて教えてほしい。	総合計画審議会の委員は33名で構成されている。学識者が8名いるが、分科会の内容に対応できる方を選んでいる。また、農業や漁業など関係団体の代表者を選んだ。公募市民は6名で、レポート審査と面接で選考した。応募者は10名だった。
80 新しい組織であるNPOなどの団体から出ていないが、もともとそういう視点はなかったのか。	NPOについても、適当な団体があればと思った。しかし数が多いので、どこを選ぶのかは難しく、結果として選ばなかった。
81 第1回総合計画審議会を傍聴したが、公募の委員が若いので驚いた。選考の枠は最初からあったのか。応募者全員を入れることも考えられたのではないか。	基本的には、選定基準を定めて公正に判断した。若い方という意図はなかった。結果的にそうだったが、審議会全体の構成からすれば、年齢のバランスは良かったと思っている。
82 他の委員から、理解が足りない中での議論が多かったと指摘があった。計画書の中身は膨大で、市職員は理解しているが、総合計画審議会の委員は難しい面もあったと思う。もう少し、評価や今の取り組みに関する資料を、事前に提供する必要があったのではないか。	もちろん、関係資料を送付することも大切だが、総合計画審議会の委員には、市民の実感として生の意見をいただきたいと思っている。
83 緑の基本計画や都市計画マスタープランなどの個別計画は議決ではないので、これらの計画と基本計画との整合はどのように考えているのか。	基本計画はすべての計画の上位になるので、個別の計画を改定・策定するときは、各々、基本計画との整合を図ることになる。
84 都市計画マスタープランが先にできたことに、すごく違和感がある。基本計画の策定を期に、各種計画との整合をとってもらえるのか。	個別計画は、それぞれ改定時期が異なるとともに、法定計画、自主計画の違いなどもある。しかし、それぞれの計画が基本計画との整合を図っていくことになる。

委員		理事者	
発言要旨		発言要旨	
85	素案の内容は、企画調整部だけではなく、所管部の意見を反映させているのか。		各部局から選出したプロジェクトメンバーを介して、各部局と摺りあわせをしている。
86	総合計画審議会の意見に、「地域の子どもは地域で育てる観点から、子ども会を視野に入れた仕組みづくりを考えてほしい」とある。各意見に対して回答をまとめているとのことだが、それも見せてもらえるのか。		お示した資料では、総合計画審議会の委員の意見をそのまま掲載している。イメージとしてはパブリック・コメントの対応のように整理して答えていく。
87	色々な意見を広く聞くのだろうが、意見を束ねていくことが重要だ。意見の中には対立するものもある。グルーピングする際に、議論の場を設けるべき。最終的な意見集約の方法をお聞きしたい。		まずは、いただいた意見一つひとつの対応を示していく。その上で、対立するものは整理する。

- 1 交流
- 2 共生
- 3 創造
- 4 その他